



飯沼冬彦先生の おもしろ自然教室第1回

桜など春の植物を学びに、田淵行男記念館から大王わさび農場までを歩きます。

■日時 4月19日(土)

午前9時～11時30分

■集合・解散 田淵行男記念館

■場所 大王わさび農場

■定員 28人(先着順)

■受講料 400円(受講料、入館料、保険料など)

■申し込み 4月1日(火)～13日(日)に受講料を添え、記念館窓口までお申し込みください。

■田淵行男記念館

(TEL・FAX 72・9964)

視覚に障がいがある皆さんへ 対面朗読と点字等郵送貸し出しサービスの案内

市の各図書館では、視覚に障がいを持つ皆さんを対象にした対面朗読サービスと点字・録音・DAISYなどの郵送貸し出しサービスが4月から始めます。

■登録できる人
市内に居住あるいは通勤・通学している視覚に障がいがある人は、どなたでも無料で利用できます。

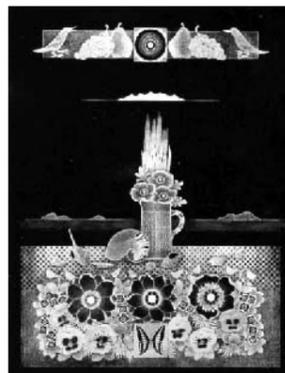
■登録方法
利用には登録が必要です。来館、郵便、電話などで受け付けます。登録では、氏名(フリガナ)、生年月日、住所、電話番号、障害者手帳番号(お持ちの場合)は、点字使用の可否、DAISY Y再生機の有無などをお伺いします。不明な点、登録方法などの詳細は、各図書館にお気軽にお問い合わせください。

■対面朗読(市内全5館)
各図書館で朗読する部屋を確保し、朗読者ご希望の資料をお読みします。朗読資料を早く

読みたいときや、調べものをする時、図の説明を詳しく受けたい時などにご利用ください。図書館資料のほか、持参された資料も朗読の対象となります。ただし、手紙や通帳などの私文書は対象外です。申し込みは利用の2日前までとなります。利用時間は各館の開館時間です。

■点字・録音・DAISYなどの郵送貸し出し(穂高図書館)

希望する点字・録音図書を市内外の図書館から借り受けるなどして、郵送で貸し出します。電話、FAX、手紙などでお申し込みください。資料は郵送で貸出・返却を行います。郵送料は無料です。一度に利用できる資料は原則として点字・録音資料合わせて一人10点まで(点字・録音雑誌は含みません)。資料がお手元に届いてから2週間利用することが出来ます。詳しくは、穂高図書館へお問い合わせください。



高橋節郎 寄贈作品 四季物語 2001年制作

縦145字、横110字の大きなパネル作品で、額に入れて展示します。黒い漆塗りの画面上に金の文様がありますが、これは先のとがった専用の刀で細かい線や点を画面に彫り、そこに金粉などを埋める手法で表されています。逆に金箔を画面に貼って、その上を刀で削って黒漆を出す手法が使われている部分もあります。金色の花や貝殻、鳥、蝶、麦。いずれも高橋節郎作品によく見られるモチーフです。大きく取られた漆黒の空間が、画面に吸い込まれて行くような奥行きを感じさせます。

■安曇野高橋節郎記念美術館 (TEL 81・3030 FAX 82・0551)

※DAISY(ブリージー)とは:

Digital Audio-based Information Systemの略。デジタル音声情報システムと訳される。視覚障がい者など印刷物を読むのが困難な人々のために作られた標準規格。

■申し込み・問い合わせ

●豊科図書館

〒399・8205 安曇野

市豊科4289番地1

TEL 0263・72・2158

FAX 0263・73・6401

●穂高図書館

〒399・8303 安曇野

市穂高5047

TEL 0263・84・0111

FAX 0263・84・0116

●三郷図書館

〒399・8101 安曇野

市三郷明盛4810-1

TEL 0263・77・2109

FAX 0263・76・3077

●堀金図書館

〒399・8211 安曇野

市堀金烏川2753-1

TEL 0263・72・5796

FAX 0263・72・5801

●明科図書館

〒399・7102 安曇野

市明科中川手6814-1

TEL 0263・62・1122

FAX 0263・62・1124



昨年11月に開かれた「朗読ボランティア養成講座」の様子。市内の朗読ボランティアグループの会員など44人が参加し、呼吸や抑揚の付け方などの朗読技術を全4回にわたり学びました。

おすすめの1冊 はらぺこあおむし

エリック・カール 作



紹介する人

小川 邦子さん 結子ちゃん (穂高有明)

日曜日の朝生まれたおなかをすかした小さな青虫。月曜日はリンゴを1つ、火曜日はナシを2つと、いろいろな物を食べ、成長していきます。色彩豊かでおいしそうなお菓子や果物がたくさん登場します。つい食べ過ぎておなかを壊してしましますが、緑の葉を食べてすっきりよくなります。やがて成長した青虫はさなぎになり、最後は美しいチョウに変身します。ストーリーが分かりやすく、青虫が食べた部分には穴があき、子どもが指を入れても破れにくいように作られています。小さな卵から生まれた青虫がチョウになるまでの過程を観察したくなる、そんな絵本です。